

開封しました ほほえみポスト

2021年4月～6月 小豆沢病院利用委員会



2020年4月から6月までの3ヶ月間で、11通のご投書をいただきました。ありがとうございました(同じ趣旨のものはまとめさせていただいています)。

この内容は外来のディスプレイで放映しているほか小豆沢病院のホームページにも掲載しています。

ホームページでは過去約1年分をご覧いただくことができます。www.kenbun.or.jp

改善に関わる投書

●外来で診察をされた患者様から

外来で診察していただきましたが、会計時に計算ミスがありました。患者数も少なく込みあっていませんでしたので、緊張感が足りないように感じました。また、お詫びもなく悪びれる様子もありませんでした。小豆沢病院は地域に密着をした家庭的な病院と思い信頼を寄せています。働き手の教育をすすめるよう徹底していただきたい。

(回答)

診療費の計算を間違えた上に謝罪もなく、不快な思いをさせることになり申し訳ございませんでした。患者様の信頼を損なうことがないよう、緊張感を持ち丁寧な対応をおこなうよう、職員教育とあわせて徹底してまいります。

●入院をされた患者様から

病室での電話による会話はやめて欲しい。

(回答)

病室での電話による会話は禁止しています。電話による会話は定められた場所からおこなっていただくよう、あらためて徹底してまいります。

●入院をされた患者様から

レンタルパジャマの柄を多くしてください。たまには違うものが着たいです。

(回答)

大変申し訳ございませんが、ご希望にお応えすることができません。レンタル会社にて、契約をしている病院ごとに柄を定めていることが理由になります。

ご評価をいただいた投書

●入院をされた患者様から

入院の時はとても不安でしたが、一瀬先生のやさしい笑顔と励まし、そして山路看護師長さん、梅田さん(看護師)のあたたかな気づかい、また、たくさんのスタッフのみな様の勇

気づけや、夜中、朝方を問わずの看護にどんなにか心強く頑張ることが出来ました。「元気になろう!」というスイッチが私の中で働き始めました。そして、退院を迎えることが出来たのも、皆様のおかげと感謝しております。

そして、リハビリの比留間さん(理学療法士)、大村さん(作業療法士)には良く励ましてもらいました。「油断は禁物!」と、ことあるごとに言っていただき、心に深くとめてあります。

そして、(担当以外の)多くのスタッフのみな様にも助けていただきました。お礼を申し上げます。

また、近藤さん(介護福祉士)にはいろいろと教えて頂き、私の体への関心を高めて頂きました。お礼申し上げます。

●入院をされた患者様のご家族から

父親が肺炎で入院しました。当初、コロナ検査もしていただき陰性と分かり安心しました。急でしたが入院の対応もしていただき、大変助かりました。

先生、看護師のみな様、職員のみな様にはいつも親切に対応していただき感謝しております。

コロナ禍の中、皆様大変かと思いますがお体に気を付けてお仕事なさってください。ありがとうございました。

●入院をされた患者様から

入院中は大変お世話になりました。ありがとうございました。親切に対応していただき、安心して入院できました。少しばかりで申し訳ないですが寄付をさせていただきます。ありがとうございました。

●1階外来フロアの投書箱から

看護の担い手が頼もしいです。医療と健康のひろば紙上に2021年度の新入職員の紹介が掲載されていました。若い新人らしく、看護を必要とする人の命を大切にする職業を選んだという気持ちがとても大きく見えました。本当にうれしく思います。

私も病気で看護をしてもらう時があるかもしれません。案外近いかもしれませんが、その時はよろしく願います。

●入院をされた患者様から

リハビリで担当をしてくださった先生方に感謝をします。担当でない先生方も声をかけてくださり、本当に嬉しくありがたかったです。退院することを皆さんが知っていてくださり、声をかけていただき嬉しかったです。感謝しかありません。

